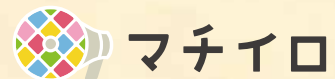




鵜 匠 (三次の鵜飼)

## 令和5年6月定例会終わる

- ▶ 令和5年第2回臨時会…………… 2
- ▶ こんなことが決まりました …… 4
- ▶ 委員会審査 …… 6
- ▶ 市政を問う (一般質問) …… 7



「マチイロ」アプリでスマホからも  
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会

検索



# 令和5年第2回臨時会

第2回臨時会を5月12日(金)から5月18日(木)まで開催し、次のことが決まりました。

## 議案

■工事請負契約の一部変更について(3件)

全員一致

■三次市固定資産評価員の選任の同意を求めることについて

全員一致

■三次市副市長の選任の同意を求めることについて

全員一致

## 報告

■専決処分の報告について(訴えの提起について)

■専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて・2件)

■専決処分の承認を求めることについて(三次市税条例の一部を改正する条例)

全員一致

■専決処分の承認を求めることについて(三次市都市計画税条例の一部を改正する条例)

全員一致

■専決処分の承認を求めることについて(三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

全員一致

■専決処分の承認を求めることについて(三次市企業立地等を重点的に促進すべき区域における市税(固定資産税)の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)

全員一致

## 令和5年度 一般会計予算の補正(第1号)

補正額 29億7,285万3千円追加

総額 380億4,285万3千円

### ●主な使い道

- ・みよし運動公園陸上競技場改修事業 4,700万円
- ・女子野球ワールドカップ情報発信支援事業 1,100万円
- ・地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業 1,052万8千円

◆子育て世帯生活支援特別給付金事業 5,400万円

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億2,821万8千円 ほか

(◆印は新型コロナウイルス感染症対応分)

《債務負担行為》 甲奴支所耐震化等事業ほか

《地方債》 公共施設等整備事業ほか

## 委員会審査(委員長報告)

教育民生常任委員会 5月12日開催

臨時会で、審査付託となった議案3件について、5月12日に委員会を開催しました。

### 【付託議案】

議案第59号「工事請負契約の一部変更について」ほか2議案

### 【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

### 【議案に対する意見】

議案第59号ほか2議案に共通して、必要な工種等は、可能な限り当初の計画に反映するように設計の精査に今後も努められたい。

委員長報告の全文はこちら→



議案の内容はこちら→



補正予算の概要はこちら→



## 総括質疑を行いました

～会派代表による総括質疑項目～

### ともえ

① 共創による地域(人)づくりについて

② 予算内における各比率について

### 清友会

① 本市の基幹産業である農業への予算の充実について

② 子ども子育て支援の充実について

### 明日への風

① 福岡市政2期目の財政運営について

② 共創による地域(ひと)づくりについて

③ 職員の働き方について

### 真止会

① 新規事業に対する市長の思いについて

② 将来を見通した財政運営について

③ 地域資源を活かした元気づくりについて

### 会派 未来

① 市政運営の基本姿勢について

② 共創によるひとづくりについて

③ 地域資源活用と人口減少状況について

### 公明党

① 地域資源を活かした元気づくりについて

② 共創による地域づくりについて

③ 共創による地域づくりについて

# 予算審議

〔修正予算〕

臨時会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案2件について、5月15日及び16日に委員会を開催しました。その審査と結果を次のとおり報告します。

## 付託議案

議案第57号 令和5年度三次市一般会計  
修正予算(案)ほか1議案

## 審査結果

議案第57号(修正案の部分を除く) 全員一致をもって原案のとおり可決  
議案第57号修正案 賛成多数で可決  
議案第58号 反対多数で否決

議案第57号 令和5年度三次市  
一般会計修正予算(案)に対する  
修正案が提出されました。

## 提案理由

備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎の移転先として選定された高平地区が、消火力、消防機能を発揮できる適地であるかということになると、これまで納得できる説明理由を伺うことができなかった。立地場所を選定するにあたっては、消火力適正配置調査を専門機関に委託し、移転先を決定する必要があると考える。そのことが行政の説明責任を果たし、さらには、議会の議決責任を果たすということになると考える。

## 討論

議案第57号「令和5年度三次市一般会計修正予算(案)」に対する修正案

反対 弓掛議員

執行部から提案されている高平地区は高台にあり、新たな移転先として必要な要件を満たしており、適地であると考えます。

賛成 増田議員

科学的根拠をもって建設用地として最適であると、明確に説明がされていない以上、一旦立ち止まることも必要であると考えます。

反対 横光議員

備北地区消防組合議会の質疑において異論はなく、採決は全員一致で議決されたところである。私は消防組合議員の一人として、議決した責任があり、その責任を果たさなくてはならないと考える。

賛成 新田議員

市民の安心安全を守るのには当然であり、新しい庁舎は必要である。多額の予算を使うのだから、市民に対して説明責任を果たすべきである。



本会議での採決の様子

議案第58号「令和5年度三次市土地取得特別会計修正予算(案)」 予算決算常任委員長報告否決に対する討論

反対 弓掛議員

高平地区の土地は、広島県が譲つていと言っている、このタイミングで購入すべきと考えます。

賛成 増田議員

本来であれば、ある程度具体的な計画等にしたうえで土地取得をしていく必要があるが、用地の状況等、現時点において到底十分に説明されているとは言えない。

反対 藤井議員

市民の間でも防災意識が目覚めてきた。高台に避難するということは大変重要であり、一つの防災拠点として、この土地取得をするべきであろうと考える。

賛成 徳岡議員

防災公園をつくるよりも、三次の宝である子どもたちの教育や、日常的に身近な施設に予算をつけるべきではないか。

反対 横光議員

この予算は土地を先行取得することにより、事業の円滑な執行を図ることが目的であり、三次市民の命を守るために購入する土地であると理解している。その意味で購入すべきであると考えます。

## 第2回臨時会 審議結果 (全員一致以外のもの)

○…賛成 ×…反対

区分	会派	ともえ		清友会		明日への風			真正会		会派 未来		公明党	日本共産党											
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	黒木	中原	伊藤
議案第57号 令和5年度三次市一般会計修正予算(案)修正案	可決 (賛成多数)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○
議案第58号 令和5年度三次市土地取得特別会計修正予算(案)	否決 (賛成多数)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	

※議案第58号令和5年度三次市土地取得特別会計修正予算(案)は、賛成多数で委員長報告どおり否決となりました。



# が決まりました

6月定例会を6月16日(金)から6月30日(金)まで開催し、議案9件及び意見書2件を原案のとおり可決し、請願1件を採択としました。

## 可決された条例

■三次市支所設置条例の一部を改正する条例

全員一致

■三次市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

■三次市税条例の一部を改正する条例

全員一致

■三次市ハイヅカ湖畔の森設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

## その他の議案・報告

■専決処分の報告について(調停の成立について)

■工事請負契約の締結について

全員一致

■市道路線の認定及び変更について

全員一致

■三次市過疎地域持続的発展計画の変更について

全員一致

■財産の取得について

全員一致

■三次市副市長の選任の同意を求めることについて

全員一致

## 請願

■公共財としての種子を保全・活用するための施策を求める意見書の提出について

全員一致で採択

## 意見書

■地方財政の充実・強化に関する意見書

全員一致

■公共財としての種子を保全・活用するための施策を求める意見書

全員一致

議案の内容はこちら！



意見書等はこちら！



## 令和5年度 一般会計予算の補正(第2号)

補正額 7億5,893万3千円追加

総額 388億178万6千円

### ■ 主な使い道

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 4億3,763万2千円
- 〈充当内訳(予定)〉

(単位:千円)

事業の名称	事業の概要	事業費
住民税非課税世帯等臨時特別給付金	コロナ禍において、原油価格・物価高騰等に直面する生活者を支援するため、非課税世帯に対し、1世帯ごとに3万円の給付金を支給する。	190,453
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(大学生等世帯分)事業	コロナ禍において物価高騰に直面する低所得世帯を対象に、この世帯で扶養する大学や専門学校等に就学している子1人当たり5万円の給付金を支給。	2,020
電力・ガス・食料品等価格高騰対応生活応援給付事業	コロナ禍における物価高騰など様々な困難に直面している市民の生活・暮らしの支援として、「三次藩札」を配布する。	176,251
学校給食食材費支援事業	コロナ禍における物価高騰等による給食食材費の値上がり分を家計に反映させることなく、子どもたちに栄養バランスの取れた給食の提供を継続するため、各共同調理場に食材費値上がり相当分を補助する。	13,908
プレミアム付商品券(三次藩札)発行事業	コロナ禍の影響を受けた市内の経済状況を鑑み、市内消費を喚起するため、プレミアム付き商品券「三次藩札」発行事業に対して補助する。	55,000

- ・備北地区消防組合負担金 1億794万3千円
- ・消防施設建設事業に伴うアクセス道路整備事業 8,520万円
- ・備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎用地取得事業 6,816万3千円
- ・内水対策事業(権現川貯留施設整備) 3,000万円
- ・過年災害農業施設復旧事業 1,941万9千円
- ・過年災害農地復旧事業 1,023万4千円
- ・危険木等伐採事業補助金 1,000万円ほか

《債務負担行為》追加 2件 次期一般廃棄物最終処分場候補地選定事業ほか  
 《地方債》変更 2件 河川災害防止対策事業ほか

### 特別会計

【土地取得特別会計】(第2号) 7,812万6千円

《債務負担行為》1件 公共用地先行取得事業  
 《地方債》1件 公共用地先行取得事業

補正予算の概要はこちら  
 6月補正予算をご覧ください





## 予算決算常任委員会 予算審議（補正予算）

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案2件について、6月28日に委員会を開催しました。その審査と結果を次のとおり報告します。

### 【付託議案】

議案第71号 令和5年度三次市一般会計補正予算(第2号)(案)ほか1議案

### 【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

### 【議案に対する指摘及び意見】

議案第71号の備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎建設事業の実施に当たっては、備北地区消防組合と連携して、早期に地元への丁寧な説明を行うなど、円滑な推進を図られたい。また、議会に対しても進捗に応じて丁寧な説明と報告に努められたい。

電力・ガス・食品等価格高騰対応生活応援給付事業については、市内に本社がある三次藩札取扱い加盟店での使用率が年々下がっている状況の中で、できるだけ地元企業で使用してもらえるような仕組みづくりを今後検討されたい。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金（大学生等世帯分）事業など現金を給付する事業については、今後、マイナンバーカードの活用を検討されたい。

過年災害農地復旧事業及び過年災害農

業施設復旧事業においては、今後、受益者の負担軽減を図るため、受益者負担の上限を定めることも検討されたい。

議案第72号「令和5年度三次市土地取得特別会計補正予算(第2号)(案)」については、公共用地先行取得に当たっては、市民のために、防災上適切に機能が發揮できるように早期の計画作りに取り組まされたい。

**発議第4号 議案第71号 令和5年度三次市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議(案)が提出されました。**

### （提案理由）

備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎の移転先については、幹線道路までの接続に不安があること、また現在地と道路事情・交通事情が異なることについて、これまでも意見が多く出された。よって、備北地区消防組合と綿密に連携をとり、消防力が十分に発揮され、市民の安全・安心な生活に寄与するよう、着実に条件整備を進められたい。

そして、予算執行に当たっては、地域住民への情報公開、進捗状況に応じた議会への説明を求めるものである。

## 討論

発議第4号 議案第71号 令和5年度三次市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議(案)

### 反対 杉原議員

三次市議会においては、委員会中心主義をとり、議案の精査を行ってきた。ましてや予算決算常任委員会においては、議長を除く全議員で審査を行い、付すべき意見も全員から聴取しているところである。そういった意味で言えば、今回の決議は委員会軽視であり、ただのパフォーマンスに過ぎない。

### 賛成 藤岡議員

市民の命と財産を守るためにも、消防施設はとても重要である。多くの市民に影響を与える重要施設である消防庁舎の建設について、引き続き地域住民への丁寧な事業説明、そして議会への進捗状況の説明を求めることは、議会の機能、役割、そして住民代表である議会の意思として当然であり、必要であると言える。

### 反対 横光議員

附帯決議事項は委員長報告に網羅されていると考えており、そのうえで、附帯決議を行うことは、予算決算常任委員会の議論、意見、あるいは委員長、副委員長でまとめた委員長報告を軽んじる行為であると言わざるを得ない。

### 賛成 新田議員

消防議会、三次市議会での審議が十分であったまま議決されたことの重さを反省している。今回、附帯決議(案)が提出されたことを重く受け止めている。

## 6月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの) ○…賛成 ×…反対

区分	会派	ともえ		清友会		明日への風		真正会		会派 未来		公明党		日本共産党											
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	丸戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	黒木	中原	伊藤
発議第4号 議案第71号 令和5年度三次市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議(案)	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○

※可否回数であったため、地方自治法第116条第1項の規定により、議長において可否を決した。

# 委員会審査

## 各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、6月23日～27日に各委員会を開催しました。

### 産業建設常任委員会 6月23日開催

#### 【付託議案等】

議案第67号 「三次市ハイヅカ湖畔の森設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」ほか1議案

請願第1号 「公共財としての種子を保全・活用するための施策を求める意見書の提出について」

#### 【審査結果】

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

請願 賛成多数をもって採択

#### 【請願に対する意見】

請願第1号について、不採択とすべきであるとして述べられた内容としては、広島県農業ジーンバンク廃止後の種子の取扱いとして、広島県議会において、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構へ譲渡を行わない種子については、直ちにすべてを廃棄するのではなく、利用者や市町など関係者の意見を聞きながら、有効な活用方法について、検討していきたいと考えていると答弁をされている。



執行部から説明を受ける  
(議案第69号市道路線の認定及び変更について)

広島県がジーンバンクを廃止した理由として、財政上の問題と利用の低迷が挙げられており、三次市の農家の利用も極めて低く、三次市の農業政策に対する影響もそう大きくないと感じる。廃止を決定されたことに対しては、いわゆる選択と集中という観点からも、広島県がとられた措置についても十分理解できる。との意見が出されました。

次に、採択すべきであるとして述べられた内容としては、広島県農業ジーンバンクが保有する1万8,000点以上の種子は、県民にとって大きな宝であり、財産でもある。今後、起こりうる食糧難への備え、また作物を改良していくうえでも、これからの種子は必要とされる。請願者の説明でも、県の対応は評価できる部分はあるが十分では

ない旨が述べられており、その内容は理解できるものである。次世代の農業のためにも、今ある種子をしっかり管理し、守っていくべきだ。との意見が出されました。

性への配慮、三次消防署甲奴出張所にかかる車両の動線の確保には特に留意願いたい。

議案第68号「工事請負契約の締結について」は、応札機会拡大にかかる研究を更に進められたい。



請願者から説明を受ける様子

### 総務常任委員会

6月26日開催

#### 【付託議案】

議案第64号 「三次市支所設置条例の一部を改正する条例(案)」ほか3議案

#### 【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

#### 【議案に対する意見】

議案第64号は、三次市甲奴支所仮庁舎に来庁される方の安全の確保と利便



執行部に質疑を行っている様子

### 教育民生常任委員会

6月27日開催

#### 【付託議案】

議案第66号 「三次市税条例等の一部を改正する条例(案)」

#### 【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決

各委員長報告の全文はこちら↓



# 市政を問う

一般質問一覧

令和5年6月定例会 一般質問



三次駅を出発する市街地循環バス「くるるん」

## 質問1

地域公共交通について何う



黒木 靖治  
公明党

市街地循環バス「くるるん」は、平成22年10月2日に運行開始されてから14年が経過した。社会情勢の変化により、自動車運転免許証を返納される方が増えているが、免許証返納者や交通弱者の実情に応じた運行路線や時間変更ができないか何う。

## 答弁1

慎重に判断をしながら検討していく

矢野地域振興部長  
大きな変更は、今利用されている方の混乱が生じることも予想されるため、慎重な判断が必要だが、今後も利用しやすい運行の改善を検討していきたい。

## 質問2

持続可能な農業について何う

農業従事者の減少、高齢化が進んでいる状況があり、農業を取り巻く環境は大きく変わっている。今後、小規模農業や家族農業への支援及び地域計画策定の取組や、専門的な知識を持った職員がJA等と一緒に農家の経営等を後押しする人材の育成ができないか。

## 答弁2

関係機関と連携して支援を行っている

中廣産業振興部長  
農業の専門知識を有する県OBを農業技術普及専門員として雇用し、職員への指導・助言を通じた人材育成を行っているほか、県の専門職員やJAの指導員等と連携して農家への支援を行っている。

## 質問1

ゲノム編集トマト苗は受け取るべきでないのでは



伊藤 芳則  
日本共産党

ベンチャー企業がゲノム編集したトマト苗を、全国の小学校へ配布する計画をされている。ゲノム編集は遺伝子を壊すもので安全性は確認されておらず、環境や食の安全に影響が出かねない。ゲノム編集トマト苗を受け取るべきではないと考えるがいかか。

## 答弁1

安全が確認されたものを使用している

宮脇教育次長  
実際に市内小中学校に配布されたという事実はない。一般論として、児童生徒の安全を守る観点から、安全が確認されたものを教材として使用している。

## 質問2

消防署新庁舎の選定場所に問題はないか

移転候補地の高平は現在地より遠くなり、中原踏切と朝夕の渋滞、積雪時の対策等、不安の声がある。市民の理解を得るためにも、説明責任を果たすべきではないか。また、平成30年の災害で道路が崩落している。まずは地盤調査をする必要があるのではないか。

## 答弁2

丁寧な説明を行い、理解を得ていく

山田危機管理監  
緊急車両の走行時間への影響が最も小さい候補地として選定したことについて、今後も丁寧な説明を行っていく。また今後進められる基本設計・実施設計の検討の中で、必要な調査を実施していく。



消防本部・三次消防署庁舎





ふじいけんいちろう  
藤井憲一郎  
ともえ

**質問1**  
街路灯の管理状況は

三次中央通り商店街の街路灯が2月から消えている。市内各地の商店街においても、店舗や会員数の減少により維持管理が難しくなっていると思われる。設置基準による制約はあるが、防犯灯として役割を置き換えることはできないか。

**答弁1**  
設置した地域が維持管理を行うことが原則

山田危機管理監  
防犯灯は、街路灯が整備されていない公道等の不特定多数が通行する場所を照らすために設置されるものであり、現状としては設置いただいた地域が維持管理を行うことを原則としている。

**質問2**  
開催に向けて機運醸成を

「第9回WBS C女子野球ワールドカップグループステージB in 三次」が、三次きんさいスタジアムで開催される。6か国の代表チームが集い、国内のみならず、海外へも「三次」を発信するチャンスである。どのようなプロモーションを考えているのか。



交通安全七夕まつり  
(侍ジャパン女子代表団一行・三次中央幼稚園園児)

**答弁2**  
今後もあらゆる方法で機運醸成を図っていききたい

福岡市長  
人口5万人に満たない市でも、ワールドカップを成功させることができる。といったような気概を持つてもらい、情報発信、あるいは参加チームへのもてなしなどの取組を重ねながら、プロモーションを展開していききたいと考える。



おだしんじ  
小田伸次  
ともえ

**質問1**  
「共創のまちづくり」の取組方法は

地域差はあると思うが、常会が解散している状況に対して、どう取り組んでいるのか。様々な団体等が解散して街のあかり(活力)が消えていっていると感じる。今まさに、市・議会・市民が共に創造して三次市発展のために協議する時と考えるがいかがか。



あかりの消えた商店街

**答弁1**  
連携を取って対応していきたい

矢野地域振興部長  
人的・財政的支援、国や県の補助制度の紹介、また各地域の資源の利活用など、関係部署や関係機関と連携して取り組んでいる。担当部署だけで解決できない課題については、市役所全体で連携を取って対応していきたい。

**質問2**  
市立三次中央病院完全個室化による影響は

新病院建設に完全個室化の案が示されたが、現有スタッフの数で運営できるのか。また病床数の減少等による病院経営に不安を感じるがいかがか。なにより入院患者の入院費の個室利用負担はどのようになっていくのか伺う。

**答弁2**  
経営的な視点も重要視する必要がある

片岡市民病院部事務部長  
完全個室型により病床数を増やす場合には、現有スタッフ数では不足すると試算している。病床数を減らすと収入も減少することは、当然想定されるが、個室とすることで病床利用率が上がり入院収益の増につながるメリットもあると考える。  
個室利用負担は患者さんが有料個室を希望されない場合には発生しない。



**質問1** 不登校児童生徒への進路確保の指導対応をどのように行っているのか

三次市における不登校児童生徒の人数は、令和元年度68人から令和4年度106人へと約1.5倍に増加した。中でも、進学などを控えた、中学2・3年生の割合が高い。進路確保について、進学を控えた不登校児童生徒への取組をどのように行っているか伺う。

**答弁1** 意欲につないでいく取組を進めている

迫田教育長  
できるだけ早い時期から一人一人の強みや個性を生かせる進路情報を提供する、また実際に学校を見学し、卒業後のイメージを作らせるなど、保護者とも連携しながら意欲につないでいく取組を進めている。

**質問2** 市立三次中央病院の一般病棟の完全個室化への課題とその取組は

新しい三次中央病院の一般病棟の完全個室化は多くのメリットがあると同時に、個室ゆえの患者や職員への安全性の確保などが課題として考えられる。三次市として、完全個室化への課題への取組について、どのように考えているか伺う。



市立三次中央病院

**答弁2** 課題や改善策を情報共有し、基本計画へつなげていく

片岡市民病院部事務部長  
看護動線が長くなり、患者ケアにかかる看護師負担が増加することが想定されるため、看護師の人員確保が重要な課題であると捉えている。職員の働きやすい環境を整えることで、今後の人材の確保につなげていきたいと考えている。



**質問1** 増加する空き家への対策と活用は

本市でも年々空き家が増加しており、現在5戸に1戸が空き家という現状がある。それぞれの自治組織等でも集落支援員を中心に、空き家対策に精力的に取り組まれているが、増加する空き家対策に対して「予防」「活用」の観点で、本市としてのこれからの取組を伺う。

**答弁1** 今後も空き家の状態に応じた対策を行っていく

加藤建設部長  
空き家の発生予防対策として、講演会等の開催やパンフレットを活用し、管理意識の向上につながる取組を進めている。また、活用対策としては、「三次市空き家情報バンク」の充実を図っている。今後も空き家の状態に応じた段階的な対策を行っていく。

**質問2** 新学校給食調理場の地産地消の取組を

9月から供用開始の三次市新学校給食調理場は、「三次市の子どもたちに、三次産の農作物を取り入れた安心安全な給食を提供する」という基本理念で出荷者連絡協議会を結成し、川地・田幸調理場の思いを引き継ごうとされているが、地産地消率を上げるために、これからどのような取組をされるのか伺う。



建設中の三次市新学校給食調理場 (6月現在)

**答弁2** 活用率を増やすための目標値を設定していきたい

宮脇教育次長  
地産地消を推進するための指標として、国の食育推進基本計画や広島県地産地消促進計画などの地産地消の目標値を用いることが望ましいと考えている。  
目標値を設定するための基準年をどこにするのか検討した上で、地元産農産物の活用率を増やすための目標値を設定していきたいと考えている。



令和5年4月から組織統合した三次市社会福祉協議会

**質問1** 地域包括ケアシステムを構築するうえで、包括的な支援体制をどう考えるのか

第2期広島県地域福祉支援計画の策定に向けた実態調査では、個人や1つの世帯に複合的な課題が存在する調査結果があった。このような実態に対応するためには、庁舎内の連携や庁舎外の間接関係者との連携が必要と思うが本市の考えを伺う。

か だ ひ こ  
け だ 勝 彦  
掛 田 勝 彦  
明日への風

**答弁1** 必要な支援に努めていきたい

立花福祉保健部長  
市では福祉・保健・医療などの各担当部署において抱える課題によってはケース会議等を開催し、情報共有及び連携を図り対応している。今後も庁内連携を図り、地域でのつながり、支え合いを基本に、地域・行政・関係機関で情報共有を行い、必要な支援に努めていきたい。

**質問2** 本市の人口減少対策についての考えは

4月の統一地方選挙では、全国的に人口減少社会の中で、どのような自治体運営を行っていくのかが争点になったと感じる。本市の場合、人口減少対策について取組の必要性を感じているのであれば、そのプランを含めた相対的な考え方に伺って伺う。

**答弁2** 引き続き特徴ある事業を展開していく

福岡市長  
ローカルの強みを生かした取組、地域資源の活用を最大化させる、こういった取組が今後、重要性を増していくと思う。地方の特色を出しながら、子どもを産み育てやすい環境になるよう、引き続き特徴ある事業を展開していきたいと考えている。

**質問1** 第3次三次市総合計画策定に向けての考えは

総合計画は「三次市まち・ゆめ基本条例」に定める、まちづくりの基本理念を、10年間の計画として示すものである。次期計画において、めざすまちの姿、重点項目、取組の柱など、市長としてどのような点を盛り込んでいきたいと考えているのか伺う。

ま だ ひ ろ  
す だ とも ひろ  
増 田 誠 宏  
明日への風

**質問2** 下水道接続のための補助を

県内でも廿日市や尾道市で下水道接続促進のための補助をしている。本市も接続工事への補助あるいは受益者負担金・料金の減免、例えば数か月分無料にするなどの考えはないか。整備が他の地域より後年となったことよって、余分な費用が必要となったことへの救済として補助できないのか伺う。

**答弁2** 公平性の確保の観点から難しいと考える

加藤建設部長  
補助については、接続済みの方との公平性の確保の観点から難しいと考えている。まずは普及促進において、下水道の役割や接続へのメリット等をしっかり周知していくとともに、住民の皆さんにご理解いただけるような取組を進めていく。



粟屋町水質管理センター





すずき ゆき  
鈴木深由希  
真正会

**質問1** 公共交通空白地帯解消のため早急な取組を

本市の地域公共交通に危機を感じる。他市では行政・民間事業者・市民が協働で利便性の良い運行が実現していることを研究されたい。専門部署を設け、市全域の運行を見直し、持続可能な公共交通網を早期に構築する必要があるのでは。

**答弁1** 全国的な取組事例も研究しながら検討していきたい

矢野地域振興部長  
本市としては、公共交通空白地帯解消のため、相乗りタクシー事業の啓発に継続的に取り組んでいるが、全国的な取組事例も参考にしていきたい。

**質問2** 子どもたちの輝く未来を育む三次の教育とは

学区自由化、小中一貫教育、GIGAスクール構想等、課題を持ちつつ新規事業が加わっていく。不登校児童・生徒への

早期対応、長期化しない対策は。また学力到達度検査、結果にこだわる指導が行われていないか。個々の成長を見守り、他者と比較しない指導が必要では。



令和4(2022)年3月三次市教育委員会

**答弁2** 児童・生徒が安心して生き生きと学校生活を送れるよう取り組む

迫田教育長  
制度が児童・生徒にとって有効に機能しているかを常に検証することは重要だと考えている。  
不登校になっていく児童・生徒には一人一人、丁寧に状況を把握し、多くの関係者を巻き込んで対応したい。  
学力到達度検査は、基礎的な知識、活用力を身に付けることを目的に行っており、児童・生徒の到達状況や定着状況また、つまずきの状況を把握し、改善につなげている。



さい き とある 亨  
齊木亨  
真正会

**質問1** 野生猿の生態調査と被害対策は

作木町内の江の川流域には野生サルが住み着き、流域の農家の野菜や果物等への被害が出ている。野生サルによる被害情報を調査して被害額を整理してもらいたい。また、農作物の被害を防止するための情報と捕獲に向けたGPSを使ったシステムの取組ができないか。



旧伊賀和志駅近くの猿

**答弁1** 効果的な鳥獣被害対策を推進していく

中廣産業振興部長  
被害状況等の把握については、支所や駆除班と協議をして検討していきたい。

い。また、捕獲した野生猿への首輪型GPS発信機の取り付けによる行動実態の把握等については、他市町の事例調査や専門家の意見を伺っているところである。  
集落ぐるみでのサル被害対策など、専門家や駆除班等と連携し、効果的な対策を推進していきたい。

**質問2** アグリパーク整備事業の新旧構想の変更点は

アグリパーク整備事業が今年度改めて進められることになったが、平成29年度に策定された(仮称)みよしアグリパーク整備基本構想当初の構想に基づいた事業と考える。当初の事業計画と考え方が変わった点はあるものか。また、アグリパーク事業は本市における新規就農者、農業者の拠り所にならないといけないが、本市の考えは。

**答弁2** 社会経済情勢等の動向を踏まえ計画の見直しを行った

中廣産業振興部長  
社会経済情勢等の動向を踏まえ、育成牧場、花生産団地、展望台の整備については計画の見直しを行った。  
農産物のさらなる販売力の強化、担い手の育成につなげていくとともに、農業を起点とした新たな価値を創出・拡大することで、生産者・販売者・消費者の交流の拠点として既存近隣施設と連携し、進めていきたい。



**質問1**  
「みよしらしき」による教育振興を

三次市教育大綱・教育振興計画が策定される。策定にあたり、三次市の独自の教育課題をどうとらえるか。市長所信表明の「共創の人づくり」を市の大綱や計画にどう盛り込んでいくのか。

**答弁1**  
教育振興基本計画との一体的な策定に取り組む

福岡市長

教育大綱については、学校教育、文化振興に関する課題や方向性を共有し、総合的な施策の目標や根本を示す方針となるよう、教育委員会が策定する教育振興基本計画との一体的な策定に取り組む、これらの取組についても盛り込んでいく。

**質問2**  
公平で透明な教科書採択を

本年は小学校の教科書採択が行われる。公平性・透明性が必要である。そのための手続きや情報公開をどう進めていくか。採択の権限を持つ教育委員会会議を公開すべきと考える。教育委員会の見解を伺う。



教科書見本

**答弁2**  
適正な採択事務を進めている

迫田教育長

公平性や透明性に疑念が生じないよう、適正な採択事務や手続きを進めている。採択を行う教育委員会会議については、公開するということも含め、協議をする予定である。



**質問1**  
馬洗川右岸（皇敷・願万地地区）における内水対策事業による見込まれる効果は

この度、排水ポンプと燃料タンクの増設が実施され、5機のポンプが24時間稼動可能となったが、それでも燃料切れの心配がある。その場合の燃料補給の対策はされているのか。

**答弁1**  
随時供給してもらえよう備えている

山田危機管理監

追加の燃料が必要となるような場合は、随時、供給してもらえよう市内の石油業者と協定を結んでいる。  
また、水位が上昇し、橋が渡れなくなった場合は、道路状況を把握したうえで適切なルートで燃料の供給をしていくよう考えている。

**質問2**  
中学校部活動の地域移行はどのように進めるのか

文部科学省は休日の部活動を民間に委ね、全ての部活動を対象として将来的には平日も移行していくとしている。これは学校が部活動の指導をしなくなると聞かえるが、地域移行後に学校は部活動にどのように関わっていくのか。



部活動の様子

**答弁2**  
引き続き検討委員会等で協議を進めていく

迫田教育長

部活動というものは教育課程外であるが、生徒たちの自主的な活動というところで教員が献身的に関わっている。学校からすぐ切り離すということが今できるかという、難しい状況であるので、引き続き検討委員会等で協議を進めていきたい。



市役所本庁舎

**質問1**  
市長がめざす共創の市役所づくりとは

市長が2期目出馬前に作成された公約の中に、共創の市役所づくりの項目があり、市役所のDXやデジタル化により効率化を進め、市民との対話の時間を生み出すと掲げているが、具体的な考えを伺う。



のりよし  
重信 好範  
清友会



**答弁1**  
DX本部を中心に研究を重ねていきたい

東山情報政策監  
市民との共創を進めていくためには、市がしっかりと市民と対話をしていくことが重要と考える。その時間をつくり出すために、市職員の業務効率化を進めていくとともに、意見交換会やイベントなどにおいてオンライン参加等も活用していくことで対話の機会を増やし、共創につなげていきたいと考えている。

**質問2**  
高病原性鳥インフルエンザの埋却後の対応状況は

今年1月10日に、本市では初めてとなる高病原性鳥インフルエンザが養鶏場で確認され、殺処分数は約83万5千羽にのぼり、すべて埋却された。4月11日にすべての作業等が完了したが、埋却後の市民への対応状況を伺う。

**答弁2**  
関係機関と連携し取り組んでいる

中廣産業振興部長  
防疫措置完了後の対応については、県の主催により地元住民へ説明を行った。水質検査は環境保全協定に基づいて行われ、事業者が毎年、水質検査を実施し、定期的に行われる地元住民との公害防止に係る会議等で報告を行う。

**質問1**  
本市の不登校支援は

文部科学省は「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（CO-COROプラン）」を3月に示した。「不登校の児童生徒全ての学びを確保する」「心の小さな変化を見逃さない」「学校の見える化を通じて学校をみんなが安心して学べる所にする」の3つである。本市はこれを受け、どのように取り組んでいくのか。またフリースクールとの連携は図られているのか。市長の政策集には「(仮称)不登校特例校」を設置するところがあるが、いつまでに設置されるのか。



おさむ  
やす 保実  
清友会

**質問2**  
布野町二井殿の地すべり対策の現状は

令和3年8月の災害だが、工事の動きが見えない。今後の予定は。



災害状況

**答弁2**  
今年度中に工事に着手予定

中廣産業振興部長  
この地区は県の地すべり防止区域に指定されていることから、県の北部農林水産事務所と対策について協議を進め、県営の地すべり対策として事業を実施することとなった。今年度、8月に工事発注を予定されており、施工業者が決定後、地元説明を行い、秋頃から工事に着手される予定となっている。

**答弁1**  
情報共有・連携を図っている

迫田教育長  
市内でもコミュニティスクールの導入を進めており、その活用も含めて、誰一人取り残さないという学び、居場所づくりに取り組んでいる。またフリースクールに在籍している児童生徒についても、学習状況等を共有し、教職員と連携して一人一人の学びの場につなげている。



## 「みよしなるほど！出前講座」

5月24日（水）、三良坂町のみらさか福祉センターにおいて出前講座をおこない、プラチナクラブ会員の皆さんなど21名の方にご参加いただきました。出前講座とは、活力ある地域社会づくりの一環として、市職員等が皆さんの勉強会などへ出向き、専門知識を活かした講座をさせていただくものです。

当日は広報広聴常任委員会の5名の委員が訪問し、市議会の仕事や仕組みについて、お話しをさせていただいた後、意見交換会をおこないました。主に地域交通や企業誘致、みらさか福祉センターの活用について意見が交わされ、ざっくばらんな意見交換会となりました。

三次市議会では、「出張型意見交換会」を随時受け付けております。希望される団体は議会事務局（62-6179）までお問い合わせください。



意見交換会の様子



出前講座を終え、ほっと一息。茶話会の様子。

## 「全国市議会議長会」及び「中国市議会議長会」表彰

令和5年6月30日（金）本会議終了後、議長室で表彰伝達式を行いました。令和5年度の表彰者は表のとおりです。



全国市議会議長会（基準月—令和5年4月）		
特別表彰	20年以上（議員）	小田 伸次
一般表彰	15年以上（議員）	新家 良和
		杉原 利明

中国市議会議長会（基準月—令和5年5月）		
普通表彰	3年以上（正副議長）	山村 恵美子
特別表彰	28年以上（議員）	竹原 孝剛
	24年以上（議員）	大森 俊和
	20年以上（議員）	小田 伸次



## 議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会活動等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

### 【発表事項】

- 1 令和5年6月定例会の総括
- (1) 補正予算審査について
- 2 その他
  - (1) 令和4年度政務活動費収支報告について

# 各会派の政務活動報告

本市では、「三次市議会政務活動費の交付に関する条例」により、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額30,000円を会派(所属議員が1人の場合も含む。)に対して交付しています。

令和4年度支出状況(議員数:24人)【令和4年4月~令和5年3月分】

(単位:円)

会派	ともえ (5人)	清友会 (5人)	真正会 (4人)	明日への風 (4人)	会派未来 (3人)	公明党 (2人)	日本共産党 三次市議員団 (1人)
交付額	1,800,000	1,800,000	1,440,000	1,440,000	1,080,000	720,000	360,000
執行額計	1,373,292	1,970,442	1,317,821	1,490,997	978,640	705,174	179,873
内 訳	調査研究費	519,378	719,675	250,953	674,802	386,445	24,000
	研修費	0	482,678	173,386	460,060	0	0
	広報費	10,970	0	240,422	73,723	14,839	0
	広聴費	11,220	23,661	15,192	11,220	22,440	0
	要請・陳情活動費	665,218	374,675	344,618	0	160,331	0
	会議費	57,000	25,200	43,300	2,000	52,829	0
	資料作成費	0	22,004	800	0	0	0
	資料購入費	96,743	225,377	181,599	243,262	160,829	31,476
	人件費	0	0	0	0	0	0
	事務所費	12,763	97,172	67,551	25,930	180,927	29,557
差引返還額	426,708	△170,442	122,179	△50,997	101,360	14,826	180,127

## 議会のうごき

2023(令和5)年5月1日~7月31日

### 5月

- 1日 教育民生常任委員会
- 9日 議会運営委員会、全員協議会
- 12日 令和5年第2回臨時会、予算決算常任委員会、教育民生常任委員会
- 15日~17日 予算決算常任委員会
- 18日 議会運営委員会、本会議、議会運営委員会、総務常任委員会、産業建設常任委員会
- 22日 広報広聴常任委員会
- 24日 出前講座(三良坂町)
- 30日 議会運営委員会

### 6月

- 1日 教育民生常任委員会
- 5日 議会運営委員会、全員協議会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 産業建設常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 6月定例会本会議、広報広聴常任委員会
- 19日~21日 6月定例会本会議(一般質問)
- 22日 3常任委員会議案の調査研究
- 23日 産業建設常任委員会
- 26日 総務常任委員会
- 27日 議会運営委員会、教育民生常任委員会
- 28日 予算決算常任委員会
- 30日 議会運営委員会、6月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会

### 7月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 教育民生常任委員会
- 10日 市立三次中央病院建替等調査特別委員会
- 11日~12日 市立三次中央病院建替等調査特別委員会行政視察
- 18日 広報広聴常任委員会、教育民生常任委員会
- 19日~21日 教育民生常任委員会・産業建設常任委員会行政視察
- 24日 会派代表者会議
- 25日 広報広聴常任委員会
- 26日 市議会トピックス(正副議長)
- 26日~28日 総務常任委員会行政視察

### 行政視察受入状況

- 5月19日 鳥取県琴浦町議会(まちづくりセンター化への取組について)
- 7月20日 広島県竹原市議会(行政評価システムについて)
- 26日 静岡県磐田市議会(内水対策事業について)
- 27日 三重県名張市議会(かわまちづくりについて)

※すべての費目について、支出を証明する領収書等が添付されています。

※三次市のホームページから各議員の支出状況が閲覧できます。



政務活動費

### 用途基準

- 調査研究費…市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- 研修費…研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- 広報費…活動及び市政について市民に報告するために要する経費
- 広聴費…市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、相談等の活動に要する経費
- 要請・陳情活動費…要請・陳情活動を行うために必要な経費
- 会議費…各種会議に要する経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
- 資料作成費…資料の作成に要する経費
- 資料購入費…必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 人件費…活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費…必要な事務所の設置及び管理に要する経費





きりこちゃん  
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は **9月1日(金)** に開会する予定です。

いいね  
みよし

広報広聴常任委員が市内で撮影した、  
お気に入りの1枚をご紹介します



十日市中学校部活動対抗ルー



川西地区運動会



信原田楽大花田植 (三和町)



神杉大田植



備北地区消防組合  
競技会の模様



中国バス甲奴・三次線最後の日



三次市消防団夏季訓練



あしがき

市長が2期目に就任した際の所信表明の中で、浸水区域内に立地している消防庁舎を安全な場所に移転する考えを表明されました。

現在の消防庁舎は、昭和47年の豪雨災害で2.6mの浸水を記録し、近年の降雨量は全国的にも予想できない状況であります。市民の安全・安心を考えるうえで災害時の消防施設の防災能力確保は極めて大切な課題であり、6月定例会では多くの議員から質疑や意見がありました。

また今年の梅雨は、全国各地で線状降水帯の影響で局地的に大雨を記録し、甚大な被害をもたらしました。防災施策の推進と共に、改めて一人一人の防災意識を高めていく必要があります。

消防庁舎の移転に伴う行政による近隣地域への説明責任を注視し、今後も多くの課題解決に向けてしっかりと調査研究に努めて参ります。  
(中原秀樹)

編集／広報広聴常任委員会

- ◎委員長 新田真一 ○副委員長 月橋寿文
- 横光春市 藤井憲一郎 重信好範 徳岡真紀
- 中原秀樹 山田真一郎

注目スポット

「鷲神社」

「さぎのこさん」と地元では親しまれている鷲神社。

昔、備後の国に疫病が流行した

折、675年に稻背経命(イナセハギノミコト)を祀り、疫病を治めたといわれる1300年以上の歴史を持つといわれる神社です。元旦に御神水のできばえから新年の吉凶を占う「世量り神事」で有名ですが、近年は女性神職さんを中心に「風鈴まつり」や「さぎのこさんご縁市」など、様々な取組で神社と人々のご縁をつないでいらっしゃいます。  
(徳岡真紀)

